



地域おこし協力隊通信

—第21回—

協力隊の青田です。すっかり日も短くなり、急に冬が来たのではないかと思うほどの季節の移り変わりに驚く毎日です。

先日、プロバスケットボールの新リーグ「B.LEAGUE」の開戦を観戦してきました。光や映像を駆使した演出に驚かされる事が多く、見応えのあるものでした。こうした演出なども今後、能代で取り入れていくことができたらなと、いろいろ想像をしてみました。さて、すっかり秋になり、季節を感じられることといえば、食べ物と、やはり景色です。先日、ニツ井町のきみまち阪公園に行ってきました。ほんのりと色づいてきた木々を見渡すことができました。晴れた空の下、この景色を見ることができるとはやはり、この場所に住んでいるの特権だと思います。

紅葉の季節が東京に住んでいた時よりも早く感じられます。風が強いのもまた、能代らしく、そういう季節を肌で感じる事ができるのは本当に素晴らしいなと思います。もう冬もすぐそこまでやってきています。体調には気を付けて、能代で迎える初めての冬をワクワクしつつ、ドキドキしつつ、待ちわびている今日この頃です。

能代市地域おこし協力隊ホームページ
<http://www.shirakami.or.jp/noshi/colanets/>



はまなす画廊で秋の海

問合せ 市民活力推進課 ☎89・2212



このコーナーでは、市内で操業する誘致企業を紹介します。



No.62

誘致企業編

社会に貢献する製品を作り続けたい

株式会社ナカヨ

北日本事業所



【会社概要】
 所長 政田 朴之
 所在地 能代市扇田字扇刺4-5 ☎58-3611
 操業年 平成3年11月
 事業内容 通信機器のソフトウェア開発

今回は、能代工業団地に平成3年に設立された株式会社ナカヨ北日本事業所を訪問し、所長の政田朴之さんにお話を伺いました。

今回は、能代工業団地に平成3年に設立された株式会社ナカヨ北日本事業所を訪問し、所長の政田朴之さんにお話を伺いました。

今回は、能代工業団地に平成3年に設立された株式会社ナカヨ北日本事業所を訪問し、所長の政田朴之さんにお話を伺いました。

どのような会社ですか。 本社は群馬県前橋市にあり、さまざまな情報通信機器を提供しています。北日本事業所では、主にビジネス用の電話機やホテルに特化した電話機、遠隔制御が可能なPHSデータ通信機器などのソフトウェア開発を行っています。

また、温度や放射線の測定橋などの構造物の状態など人間が簡単にチェックできない集中できる静かな環境の中で、プログラムの開発や評価を行っている

社員に求めることは。 社内全体が「良き企業市民として、時代のニーズを先取りした価値を創造し、社会の発展に貢献します」という企業理念の下に取り組んでいます。開発部門としても、それを実現するために何をどのように作ったら良いのかをこれからも全員で一生懸命に考えていきたいと思います。

例えば、ホテル向けの電話機では、それだけでチェックインやチェックアウト、掃除の状態、メッセージがあるかなどを確認できる機能が組み込まれています。そういったプログラムを作っています。開発中の技術にはどんなものがありますか。

業務の効率改善を目的とした通信技術の開発を進めています。工場の中では、機械の

—社員からひとこと—



ソフトウェア開発グループ 佐藤 恒征さん (三種町)

高校や大学で情報処理の分野を学びました。地元で働きたいと考えていたので、学んだことを生かせる会社として選びました。

現在入社6年目で、設計や開発に携わっています。勉強してきた知識では足りない部分もありましたが、上司や先輩が丁寧に教えてくれ、いろいろな経験をさせてもらいました。自分の仕事が製品になり、お客さんに使ってもらえる仕事にやりがいを感じています。

(28歳。お嫁さん募集中です！)